

事業所名

児童発達支援 キッズグロース

支援プログラム

作成日

7年

1月

16日

法人（事業所）理念	「できないことがあるなんて、なんの問題もない」を合言葉に、できること・やりたいことから子どもたちが本来持っている『生きる力』を見つけ、人格形成のお手伝いをします。適切な言葉がけにより心の安定を目指します。					
支援方針	こころとからだに働きかける多彩なソーシャルスキルトレーニングで子どもたちの得意を伸ばします。個々のペースで楽しめるプログラムにより関わる人すべてが安心してすごせる施設にします。「褒めて育てる」を職員同士の合言葉に、子どもたち一人一人に寄り添った支援を行います。					
サービス提供時間	平日	10時	00分	17時	30分	送迎実施の有無 あり なし
	土曜・祝日 長期休暇	10時	00分	17時	00分	
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	毎日の検温、手洗い、消毒及び、全身状態の把握は毎日行い、異常の早期発見・対応を行う。生活リズムの形成や基本的な生活スキルの獲得にむけ支援を行う。クッキングなども取り入れながら、食に対する関心を持たせる。物の準備、片づけなど自ら行うことで身辺自立につなげる。				
	運動・感覚	公園の遊具等で遊びながら身体の使い方、筋肉の維持、強化、感覚の発達に取り組む（粗大運動） アイロンビーズ、紐通し、箸つかみなど遊びながら手先の運動、細かい動作の感覚認知形成を図る（微細運動） 竹馬、ホッピング、トランポリンなど使いバランス感覚の発達支援。 リトミックで視覚、聴覚、触覚など複合的な感覚の調整を行い、運動の均等化・協応を図る。				
	認知・行動	思考力・判断力の育成と、行動調整、学習能力の向上と適切な行動のための支援を行う。 パズル、タングラム、ジオボードなどで図形などにも関心を持たせる。 季節を感じる行事や遊び、自然に触れてその大きさ、美しさなどに気づいてもらう。				
	言語 コミュニケーション	フラッシュカードで集中力を高めながら、語彙力、記憶力、想像力を育てる。 毎日帰りの会にて読み聞かせを行う。子どもたちも自分で好きな絵本などを読むことで文字、言葉に慣れ親しむ。 月に一度のお話し会で、ペープサート、パネルシアターなどにより昔話や童話などを楽しむ。 絵カードやジェスチャーなどの非言語コミュニケーションを用いて相互理解を図る。				
	人間関係 社会性	カードゲームやボードゲーム、プラレールやレゴなどスタッフを交えて一人遊びから二人で、そして大勢で遊べるように一緒に遊んだり、屋外や公園などにおいても遊具遊び、ボール遊び、鬼ごっこなどでお友だちと一緒に集団で遊べるよう支援を行う。 見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを積極的に行う。				
家族支援	家庭での困り事・悩み事に対する助言やサポート。また定期的に保護者交流会を行い保護者同士で相談や助言、情報を共有する場を設けている。 月に一度のお便り、またLINEやSNSなどにより子どもたちが教室で過ごしている様子やプログラムなどに取りくんでいる様子を発信。			移行支援	相談事業所と連携しながら小学校への進学に対してアドバイスを行い安心してもらえるようサポートを行う。	
地域支援・地域連携	保育園や小学校、医療機関との連携。地域の行事やお祭りなどにも参加。地域の児童とも遊べるよう地域の施設や公園で遊ぶ時間を設けている。			職員の質の向上	事業所内、また外部研修へも参加することで虐待・身体拘束、衛生管理、感染症対策など様々な知識、情報を職員みんなで共有できる時間を設けている。	
主な行事等	近くの公園に歩いて出かける以外にも、車でいろいろな公園やアスレチック・博物館・科学館・水族館などへのお出かけ。 季節の行事、そうめん流し・ハロウィン・クリスマス・もちつき・初詣・節分など楽しむ。					